

# 共同礼拝

2022年3月27日(日) 午前10時30分

午後2時

司式 牧師 高橋和人

前 奏

招 詞 詩編 42編2, 3節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 95編 1～3節 (旧933)

コリントの信徒への手紙 一

12章27～31節(新316)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 2編1 (1)

説 教 「キリストの体であり、その部分」

牧師 姜 脛米

祈 禱

讃 美 歌 136 (1)

献 金

頌 栄 543

祝 禱

黙 禱

## 3月の祈り

主イエス・キリストの受苦による罪の贖いと、信仰による救いの恵みを覚え、レントにふさわしく、日々の歩みを整えて行くことができるように。十字架からイースターの希望へと導かれるように。

戦争の痛みに覆われている世界の嘆きを主が聞いてくださるように。戦火が早く止み、人々の生活が回復されるように。弱い立場の人々や子どもたちが守られるように。

## 今日の祈り

この一年の主の恩寵を回顧し、恵みを数え、希望に歩み出すことができるように。

常に平和を求め、諦めることなく祈ることができるように。戦争が一刻も早く終わり、傷んでいる人々の痛みが和らげられ、慰めが与えられるように。弱いもの、幼いものの命が守られるように。主の御心による平和が実現するように。

「キリストの体でありその部分」 姜 脛米  
コリントの信徒への手紙 一 12:27～31  
27節は、12章12節以下に語られてきたことのまとめです。私たちは、多くの異なった部分が組み合わせられてキリストの体の部分とされています。

それが教会です。私たちは、信仰を告白し、洗礼を受けることによって、このキリストの体の部分とされるのです。信仰者になるとは、キリストの体の部分となることであって、そこには、他の部分である兄弟姉妹との交わりに生きることが含まれていません。そして、主イエス・キリストの救いにあずかる者として生きるのです。

28節以下には、教会の中の様々な務め、働きの

ど、教会がキリストの体として造り上げられていくために最も大事なことが語られています。

それは、頭なるキリストに真実に聞き従うことです。「第一に使徒、第二に預言者、第三に教師」、パウロはこの三つを、神様がお立てになった第一、第二、第三の務めとしています。これらは教会が、キリストに聞き従っていくための務めです。そして、「奇跡を行う、病気を癒す、援助する、管理する、異言を語る」は、それ以外の教会の様々な務めです。

ローマの信徒への手紙12章4～8節にあるように、パウロは、教会の務めに序列があるとは考えません。本日の箇所ではなぜ、このような言い方をしているのでしょうか。それはコリント教会の事情によることでした。

コリント教会では、「異言を語る」という賜物が重んじられ、これを誇っていました。それが、信仰的に他の人よりも成長している印であると考えたのです。

しかし、パウロはもっと重要で重んじられるべき働きとして、み言葉が語られ、教会がそれに聞き従っていくための働きを上位に置くのです。

12章の始めに、聖霊の第一の中心的な賜物は「イエスは主である」という信仰の告白であることが語られていました。

私たちの交わりが具体化し、実を結ぶためには、「イエスは主である」という信仰告白をし、そして主であるイエス・キリストのみ言葉を聞き、それに従っていくことを中心とする交わりを確立していかなければなりません。「キリストの体」である教会はそのようにして建て上げられていきます。